

令和7年度 第2回加古川養護学校運営協議会 議事録

1 日 時：令和7年10月22日（水）15：30～16：30

2 場 所：加古川養護学校相談室

3 参加者：田上 哲也 様（社会福祉協議会 地域福祉推進課長）

松尾 玉彦 様（上荘町町内会連合会）

島津麻希子 様（本校PTA会長）

橋本 正巳 様（兵庫大学）

浅田 武成（校長） 山口 望美（教頭）

木方 康子（教務） 藤田好美（学校事務）

4 議事録

(1) 学校長あいさつ

(2) 学校関係者評価について

◎高等部が兵庫大学との交流を今年から開始。

◎JC交流についても、今までと違ったかたちで取り組む。

(3) 本校の教育活動について

①パワーポイント資料・映像による説明

②協議（各委員からの主な意見・質問等）

・修学旅行にみんなで行けたことは貴重な体験であった。また、お土産を先生と選んだり、家族以外の人と夜を過ごしたりするという体験も大変重要。また、対面での交流が出来るようになったこともよかった。居住地校交流については、様々な事情で出来ない家庭もあるが、地域の子どもたちに自分の子どものことを知ってほしいという気持ちがあることは理解してほしい。（PTA）

・様々な交流が増えて来ていることに驚いている。過去、自分の子どもも加古川養護に来校し交流していたこともあった。その頃のような交流に戻って来たことはよかった。今年度、見学会に参加し、初めて学校の様子を知った。子どもと教師の1対1での教育に驚かされた。また、プールも立派で、他の人にも有効に使えるようになるとコミュニケーションにつながる。（町内会連合会）

・加古川養護学校が、東播地区の特別支援教育の中核となる。子どもたち一人ひとりの気づきがしっかりと促されているかが重要。その気づきが将来どういかにされるか。校長先生から示された学校関係者評価にもあったが、年間7回連携を図っているため、自分も評価される立場でもあると認識している。（教授）

・新型コロナあけ、熱心な取組をしているが、教師の負担はどうか。（社会福祉協議会）

→教育課程の見直しを行いながら、子どもたちについて考えることのできる時間を見出している。（教頭）

(4) その他

- ・前回小野コミュニティセンターが避難場所となっていると伝えたが、入っていない。
- 指定緊急避難場所：両荘公民館・両荘みらい学園・いずみプラザ・見土呂フルーツパーク
指定避難場所：両荘公民館・両荘みらい学園・いずみプラザ・見土呂フルーツパーク
加古川養護学校
- (旧) 平荘小→× 上荘小→R8 前半まで使用可 (町内会連合会)

次回第3回学校運営協議会

日 時 令和8年2月18日(水) 15:30
内 容 学校関係者評価について